

2008年度支部共通事業 日本建築学会設計競技応募要項 課題「記憶の器」

主催 日本建築学会

後援 日本建築家協会、日本建築士会連合会、
日本建築士事務所協会連合会、建築業協会

主旨 人が何かを思い出すとき、そこには必ずその背景となる建物がある。また逆に、具体的な建物が人の心の中に過去の記憶を生起させることもある。建物が直接的に扱うのは外観の印象や内包される空間だが、結果としてそれらは人の心の中で時間の媒介物となるのだ。この時間の媒介物として見た建物を「記憶の器」と呼びたい。

これまで、建物が本来的に内包しているはずの「記憶の器」としての機能と役割については、あまり語られなかった。これには理由がある。明治以降我が国では、欧米に追いつくために性急に建物を作っていくことが国是だったし、戦後においては経済復興に邁進せざるを得なかった。大勢において、連続と時間の流れを紡いでゆく、その器としての建物の機能と役割に着目するゆとりなどなかった。しかし一方で、昭和30年代の記憶を追体験しようという動きが、様々なメディアを通してなされ始めている。小説として、映像として、言論として、商業空間として、町おこしとして。こうした動きのほとんどは、「記憶の器」としての建物が手がかりを求めている。成熟期を迎えた我が国の文化形成の一翼を、「記憶の器」としての建物が担い始めている、と言っても過言ではない。

さて、ある特定の地域を設定するとして、皆さんが提案する建物は、未来に対してどのような「記憶の器」としての機能を果たするだろうか。「記憶の器」としてとらえた時、建物はどのような空間や形態を持ち得るだろうか。この観点から「記憶の器」としての建物または建物群を提案して欲しい。

審査委員長 内藤 廣

応募規程

A. 課題 記憶の器

B. 条件 実在の場所（計画対象）を設定してください。

C. 要求図面

①現状や計画条件を図や写真等を用いて分かるようにしてください。

②設計主旨、配置図、平面図、断面図、立面図、透視図、模型写真等を自由に組み合わせ、わかりやすく表現してください（縮尺明記のこと）。

なお、設計主旨の概要を600字以内の文章でまとめ、10ポイント以上の文字で図面中に記入してください。また別途、A4判用紙1枚（縦使い）で提出してください。

ただし、模型、ビデオ等は受け付けません。

③用紙はA1サイズ2枚（594×841mm、サイズ厳守、変形不可、2枚つなぎ合わせることは不可）とし、裏面に図面番号を付けてください。仕上げは自由としますが、図面に写真等貼り付ける場合は剥落しないように注意してください。なお、パネル、ボード類は使用しないでください。

D. その他注意事項

①図面および設計主旨の概要文用紙には、応募者の氏名・所属などがわかるようなものを記入してはいけません。

②応募作品は、ほかの設計競技等と二重応募になる作品、あるいはすでに発表された作品は応募できません。

③応募作品は、本人の作品でオリジナルな作品であることを要求します。

E. 応募資格 本会個人会員とします。

F. 提出方法

①所定の応募申込書（コピー可）・主旨概要文用紙（A4サイズ）を入れた封筒と図面を一括して提出してください。

なお、受領通知が必要な方は、受領通知返信ハガキ（官製ハガキに代表者の住所・氏名記入のこと）を同封してください。

②応募作品は1案ごとに別々に提出してください。

③締切期日：2008年7月4日（金）必着（17:00まで）

④提出先：計画対象の所在地を所轄する本会各支部の事務局とします。たとえば、関東支部所属の応募者が、東北支部所轄地域内に場所を設定した場合は東北支部へ提出してください。ただし、海外に場所を設定した場合は、応募者が所属する支部へ提出してください。

⑤各支部事務局 所在地一覧

・北海道支部（北海道）

〒060-0004 札幌市中央区北四条西3丁目1 北海道建設会館6階
TEL011-219-0702

・東北支部（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）

〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目5番地15号
日本生命仙台匂当台南ビル4階
TEL022-265-3404

・関東支部（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨）

〒108-8414 港区芝5丁目26番20号
TEL03-3456-2050

・東海支部（静岡、岐阜、愛知、三重）

〒460-0008 名古屋市中区栄4丁目3番26号 昭和ビル5階
TEL052-243-6244

・北陸支部（新潟、富山、石川、福井、長野）

〒920-0863 金沢市玉川町15丁目1番地 パークサイドビル3階
TEL076-220-5566

・近畿支部（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）

〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目8番4号
大阪科学技術センター内
TEL06-6443-0538

・中国支部（鳥取、島根、岡山、広島、山口）

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F
広島県建築士会内
TEL082-243-6605

・四国支部（徳島、香川、愛媛、高知）

〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185
高知工科大学 連携研究センター303号室
TEL0887-53-4858

・九州支部（福岡、佐賀、長崎、熊本、宮崎、大分、鹿児島、沖縄）

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3丁目14番18号
福岡建設会館6階
TEL092-418-1611

G. 審査方法

①支部審査

各支部に集まった応募作品を支部ごとに審査し、応募数が15点以下は応募数の1/3程度、16～20点は5点を支部入選とします。また、応募数が20点を超える分は、5点の支部入選作品に支部審査委員の判断により、応募数5点ごと（端数は切り上げ）に対し1点を加えた点数を上限として支部入選とします。

②全国審査（公開）

支部入選作品をさらに本部に集め全国審査を行い、H項の全国入選作品を選出します。

1. 全国1次審査会（公開）

全国2次審査進出作品のノミネートとタジマ奨励賞を決定します。

日時：8月7日（木）13:00～17:00予定

場所：建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）

2. 全国2次審査会（公開）

ノミネート者によるプレゼンテーションを実施し、その後最終審査を行い各賞と佳作を決定します。なお、代理によるプレゼンテーションは認めません。

日時：9月18日（木）10:00～15:00

場所：広島大学（大会会場：東広島市鏡山一丁目3番2号）

プログラム：

10:00～ 開場

10:15～12:00 ノミネート者によるプレゼンテーション（発表時間8分間／PCプロジェクターは主催者側で用意します。コンピュータ等は各自で用意してください）

13:00～15:00 公開審査

16:15～17:00 表彰式

*プログラムは、大会スケジュールにより時間が多少前後する場合があります。

③ 審査員（敬称略順不同）

・全国審査員

審査委員長 内藤 廣（東京大学大学院教授）

審査員 五十嵐太郎（東北大学准教授）

大谷 英人（高知工科大学教授）

大月 敏雄（東京大学大学院准教授）

小篠 隆生（北海道大学大学院准教授）

小泉 雅生（首都大学東京准教授）

柴原 利紀（ラウムアソシエイツ代表取締役）

鈴木 賢一（名古屋市立大学大学院教授）

藤本 壮介（藤本壮介建築設計事務所代表）

宮田多津夫（松田平田設計プロジェクト推進部長）

・支部審査員

●北海道支部

赤坂真一郎（アカサカシンイチロウアトリエ代表取締役）

川人 洋志（北海道工業大学教授）

小西 彦仁（ヒココニシ設計事務所）

那須 聖（札幌市立大学講師）

山之内裕一（山之内建築研究所代表）

●東北支部

市岡 綾子（日本大学講師）

坂口 大洋（東北大学大学院助教）

櫻井 一弥（東北大学大学院助教）

相模 誓雄（宮城大学助教）

鈴木 博司（東北工業大学助手）

●関東支部

今村 雅樹（日本大学教授）

箴島 亮（山下設計企画開発部長）

高橋 晶子（ワークステーション代表／武蔵野美術大学教授）

野沢 康（工学院大学教授）

吉田 藤子（国土交通省官庁営繕部整備課施設評価室企画専門官）

●東海支部

伊藤 恭行（名古屋市立大学大学院准教授）

北川 啓介（名古屋工業大学大学院准教授）

日色 真帆（愛知淑徳大学教授）

山田 幸司（大同工業大学准教授）

山下 哲郎（名古屋大学大学院准教授）

●北陸支部

赤羽 吉人（林魏建築設計事務所代表取締役所長）

市川 秀和（福井工業大学准教授）

熊澤 栄二（石川工業高等専門学校教授）

小林 勉（三善建築設計事務所代表取締役）

白山 徹（富山県庁出納局検査室次長）

●近畿支部

神吉紀世子（京都大学大学院准教授）

木村 修治（奥村組関西支社建築設計部長）

庄野 利博（安井建築設計事務所大阪事務所副所長）

末包 伸吾（神戸大学大学院准教授）

谷口 知弘（同志社大学大学院教授）

●中国支部

岡川 貢（広島大学大学院准教授）

小川 晋一（近畿大学教授）

高田 輝雄（アークス一級建築士事務所会長）

垂井 俊郎（CAF垂井俊郎建築設計事務所所長）

松本 静夫（福山大学教授）

村上 徹（広島工業大学教授）

●四国支部

喜多 順三（空間計画研究所代表）

佐藤 昌平（佐藤昌平建築研究所主宰）

平山 昌信（岬建築工房代表）

三好 鉄己（アトリエ3主宰）

●九州支部

大森 洋子（久留米工業大学教授）

土居 義岳（九州大学教授）

中山 忠文（市浦ハウジング&プランニング 福岡事務所長）

松岡 恭子（東京電機大学准教授／スピングラス・アーキテクト代表取締役）

両角 光男（熊本大学教授）

H. 賞および発表

① 賞

1. 支部入選者：支部長より賞状および賞牌を贈ります（ただし、全国入選者は賞牌を除く）。

2. 全国入選者：次のとおりとします。

●最優秀賞 3点以内 賞状・賞牌・賞金（計100万円）

●優秀賞 数点 賞状・賞牌・賞金（各10万円）

●佳作 数点 賞状・賞牌・賞金（各5万円）

（授与は合計で12点以内とします。）

3. タジマ奨励賞 10点以内 賞状・賞金（各10万円）

（タジマ奨励賞は、タジマ建築教育振興基金により、支部入選作品のうち、準会員の個人またはグループの上位作品を対象に授与します）

注：賞金は、すべて税込みです。

② 入選の発表

1. 入選の発表

支部審査の結果：各支部より応募者に通知。

全国審査の結果：支部入選者には、全国1次審査結果を8月上旬に通知。

全国入選作品、審査講評：建築雑誌2008年11月号誌上発表。

全国入選作品展示：建築会館建築博物館・ギャラリー、学術講演大会会場にて開催。

2. 支部入選者表彰式：各支部で実施。

全国入選者表彰式：9月18日（木）大会会場（広島大学）

I. 著作権

入選作品の著作権は、入選者に帰属します。

ただし、建築学会がこの事業の主旨に則して入選作品を会誌またはホームページに掲載、図書の出版、展示などの公表のために用いる場合、入選者は無償でその使用を認めることとします。

J. その他

① 応募作品は、返却します。ただし、入選作品は、H項により使用が終了するまで建築学会が保管します。必要な方は作品の控えをとっておいてください。

② 質疑は受け付けません。

③ 応募規程に違反した場合は、受賞を取り消すことがあります。

K. 申込み問合せ（本部・支部事務局）

日本建築学会 各支部事務局 設計競技担当（F⑥参照）

日本建築学会 本部事務局 設計競技担当

〒108-8414 東京都港区芝5-26-20 TEL03-3456-2056

2008年度 日本建築学会設計競技
「記憶の器」応募申込書

応募支部	支 部	タジマ奨励賞対象者*2	整理番号	支部 No.	本部 No.
応募者氏名・フリガナ 連絡先（自宅）		会員種別*1 会員番号	所属（勤務先、部課／学校、学年） 連絡先（所属）		
代 表 者	フリガナ	種別	会員	所属（勤務先、部課／学校、学年）	
	氏 名	番号			
	自 宅 TEL e-mail			所 属 TEL	〒 FAX
共 同 制 作 者	フリガナ	種別	会員	所属（勤務先、部課／学校、学年）	
	氏 名	番号			
	自 宅 TEL e-mail			所 属 TEL	〒 FAX
共 同 制 作 者	フリガナ	種別	会員	所属（勤務先、部課／学校、学年）	
	氏 名	番号			
	自 宅 TEL e-mail			所 属 TEL	〒 FAX
共 同 制 作 者	フリガナ	種別	会員	所属（勤務先、部課／学校、学年）	
	氏 名	番号			
	自 宅 TEL e-mail			所 属 TEL	〒 FAX

注) 太線の枠内をご記入ください。

*1：応募資格は本会個人会員ですので、必ず会員種別と会員番号を記入してください。なお、やむを得ずに応募時に入会手続きをされる場合は、会員番号記入欄に「手続中」と記入して、入会申込書と会費支払い控えの各コピーを同封してください。

*2：タジマ奨励賞は、準会員の個人または準会員のみのグループが対象となります。対象者は、○をしてください。